

OSFだより

第104号 2010(H22)年10月



発行・編集 財団法人岡本国際奨学交流財団 263-0023 千葉市稲毛区緑町1丁目19番11号 TEL043-248-8808 FAX043-238-4138
osf-midorii1911@codan.ocn.ne.jp http://www.osf-family.com
OSF(Okamoto Scholarship Foundation)の活動案内 1、留学生宿舎の運営 2、留学生へ奨学金の支給 3、留学生の学習&人生相談・国際交流

大学の順位 (オンリーワンのすすめ)

会長 岡本 正

先日世界の大学のランキングが発表された。これは英国シモンズ社の調査結果で、世界的に認められた数字だ。新聞報道によると以下になる。

「香港大は世界で23位、これまでアジア1位を維持していた東大(24位)や京大(25位)を抑え、初めてアジア最優秀大学の評価を受けた。

調査は①各国の研究者からの評価 ②当該国の雇用者からの評価 ③教員一人当たりの論文数 ④学生一人当たりの教員比率 ⑤外国人教員比率 ⑥留学生比率、等々の指標を基に総合的に判断している。」今回から評価の対象に『大学の国際化』も加わった。

次に私が感じたのは米国と英国の大学のレベルの高さだ。上位十位以内の大学はすべて米英2国で占められている。例えば、米国はハーバード、エール、シカゴ、マサチューセッツ工科大学。英国はオックスフォード、ケンブリッジ、ロンドン大学。

日本の大学は、東大、京大の次は大阪大学で50位前後、早稲田、慶応は150位前後だ。アジア諸国では清華大、シンガポール大学が上位だ。

次にノーベル賞の獲得数は残念ながら欧米が圧倒的だ。アジアはほんの一握りの人しかない。

私共夫婦は前に、南イングランド観光に行ったことがあるが、オックスフォード大学の構内見学の折、ガイドさん曰く、「この前に立っている研究所はノーベル賞を15とっています」と。

いずれにせよ、現在までの科学・学問の世界では欧米が圧倒的な力を持っており、残念ながらアジアは遠く及ばない。

今までの国際間の競争はすべてマクロの数字で決まった。これだと常にベストワンを争い、覇権主義に

つながる。私は21世紀はオンリーワンの時代になってほしいと思う。

それぞれの国家、民族がオンリーワンに徹すれば、無理な戦いはなくなり、平和優先になるのではなからうか。

総合的なパワーは、悔しいがハーバード大学、オックスフォード大学などには当分勝てそうにない。しかし、オンリーワンの視点で見ると、別の価値観が生まれる。手近などころでは、千葉大のデザイン科はその一つではないか。日本の大学では最も早くから取り組み、今や世界の水準を抜いている。

さらに、大学全体で言うと、麗澤大学方式もよい。昨年私と妻とで中国留学生の付照君さんの関係者として卒業式に招待された。私にとっては初めての卒業式参列だ。(私自身の卒業式は戦争中で行われなかった。)

私がお客として壇上に案内されて、つぶさに卒業式の進行を見守った。麗澤大学は比較的小規模ではあるが、心温まる素晴らしい大学だ。ちょうど桜が満開で、キャンパスも清潔で整然としていた。

私が更に感銘を受けたのは、理事長の祝辞の内容だった。「みなさんは卒業後はそれぞれの地域で、良き市民となって地域社会に貢献して、美しい平和な社会を実現してください。」と。

これには私も驚き、且ついたく感動した。なぜなら、私が学生時代は「アジア・世界の指導者を目指せ」と言われ続け、市民とか地域社会への貢献などという言葉はついぞ聞いたことがなかったからだ。

オックスフォード大学は入学に際し、学生ひとり一人に「私はこれからの一生を、英国と英国民に捧げます」という誓約書を出させる由。

麗澤大学とオックスフォード大学とでは同じ大学でも考え方が異なる。アイデンティティーが違う。ベストワンでなくても良い。オンリーワンの大学で良い。

トピックスTopics!

合同バーベキュー

- ◎ 10月10日：奨学生と会館生・家族宿舎との合同バーベキュー大会が行われた。あいにく天気には恵まれず、屋上でのバーベキューはできなかったが、ホールを使ってなごやかな雰囲気で行われた。少し狭かったが庭や廊下やあらゆる所にイスとテーブルが持ち出され、笑い声があちこちから聞こえた。



結婚・出産おめでとう！

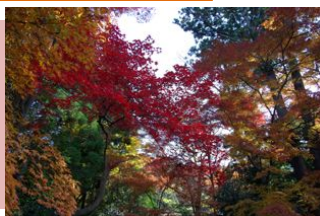
- ◎ 夏休み中に奨学生の馬躍君が、故郷の撫順で結婚式を挙げた。前途洋洋たるお二人の幸せを祈る。
- ◎ 9月29日：OBのルーリンさん（H16 会館生、ラオス）が長男を出産。帝人（タイト）君という。10月6日には来日中のお母さんをはじめ一家で来団してくれた。



会館入居

- ◎ 8月30日：エルデネチヨローンさん（モンゴル、千葉大）がみつわ台会館に入居した。通称エルちゃん（女性）。仲良くやっていきましょう。

秋も深まり、紅葉が見ごろを迎える季節がやってきました。この季節だからこそ味わえる魅力を楽しみたいですね。



OB来団

- ◎ 8月23日：OBのデリパールさん（H10、中国ウイグル自治区）が来団。ウイグルのお母さんの病氣見舞の途中に寄ってくれた。早くお元気になるといいですね。
- ◎ 9月26日：OBの銭淑君さん（H14 奨学生、台湾）が来団。千葉大で学会があったため、九州からの出席だった。相変わらず精力的に活躍している。
- ◎ 9月28日：ベトナムのドンズー日本語学校のホエ先生が来団された。現在のベトナム事情について、情熱的に話して下さいました。これからもお元気で活躍ください。
- ◎ 10月19日：OBの付照君さん（H15 奨学生、中国）が来団。仕事で来日とのこと。深センで日系企業で活躍している。2歳のお嬢さんのお母さんでもある。



王維婷さんお別れ会

- ◎ 8月25日：会館にてOBの王維婷さん（H18 会館生、中国）のお別れ会を行った。OSFのボスとして長い間ありがとう。また必ず会おう。



付照君さん



銭淑君さん

千葉大祭のOSF模擬店が11月7日（日曜日）に決まりました。

会館生一同、腕をふるって

おいしい料理を作ります。

ぜひ遊びに来てください。

♡ お待ちしてま〜す ♡

チュンマニ・プーヴィエン (会館生)
ラオス (ビエンチャン)
千葉大学 工学研究科建築都市科学専攻
「宮島観光と広島平和記念式典参加について」

僕たちは最初の日、1400年の歴史のある厳島神社を見に行き、平安時代に作られた建築美で知られた日本屈指の神社を実感することができました。神社の中にいるとき、その建物が海に浮かんでいるように感じました。背後の山の緑と、瀬戸の海の青とのコントラストはまるで竜宮城を見るようです。

翌日には、広島平和記念式典参加し、広島平和記念資料館に行きました。原爆などという、こんな怖いものを人が作ってしまうなんて、本当に恐ろしいことだと思いました。怖い原爆がふってきて、半径約4キロメートル先までの人たちは死者になっていき、生きていられた人は奇跡だそうです。広島市はわずか10秒で壊滅して、広島市の死人数は24万人を超えるそうです。

こんな残酷なことがあってはいけません。もう二度と戦争がおこらないように、世界中の人々に戦争の恐ろしさを知ってもらえばいいと思います。

金 雪英 (会館生) 中国 (吉林省)
千葉大学 人文社会科学部研究科

灯籠流し

今年の8月6日、私は広島で行われた灯籠流し行事に初めて参加することができました。灯籠流しとは、死者の魂を弔って灯籠を海や川に流す日本の行事である。特に広島市民にとっては、原爆で失った親族や知人を供養して手作りの灯籠を流したのが始まりであると言われるが、近年では世界各地から来広する人々が「世界平和への思い」を書き込む光景が目立つようになった。

佐野先生を中心とした私たち留学生5人も世界平和への思いを込めて、元安川に灯籠を流した。6日の夕方、原爆ドームの近くに行くと、大勢の人で一歩先に進むにも相当に大変で、灯籠を流すために順番を待つ列は尾が見えなかった。川面をみるとすでに数万個の灯籠が流されていて、その美しい風景に感激してしまった。1945年8月6日午前8時15分、アメリカ軍により広島市に原爆が投下され、一瞬に数万人の命が失われた。即死を免れてもひどい火傷を負い、その熱さと痛みに耐え切れずに、近くの川に身を投げた人も大勢いると言われ、川は死体で埋められたと記録されている。今、私たちはその川に2度と同様な悲劇が起こらないように、世界平和を祈って灯籠を流す順番を待っていた。

朝8時15分に広島世界平和記念式典に参加してから、平和記念資料館を観光した。今までは、ドキュメンタリー等で見た広島原爆に関するものを肉眼で見ると、見るも無残な凄まじい光景に言葉を失い心が沈んだ。壊滅的な被害を受けた広島市の模型と被爆者たちの遺品をみると、その無残さに恐れをなした。原子兵器—無差別かつ大量に殺戮する大量破壊兵器は通常兵器よりその威力は極めて大きい。戦争がない今の安穏な生活も実は、原子兵器の威嚇を受けている。

平和記念資料館を観光してから、平和記念公園を横切って原爆ドーム近くの灯籠流し受付テントに辿り着いた。世界平和への思いを込めて、私たちも灯籠を購入してメッセージを書くことにした。どのような言葉で私の気持ちを表現すればよいか迷ったが、結局今の気持ちに相応しい言葉を見つけることができなかった。「世界平和のために…」これが私のメッセージであった。

長い時間を待った末に、私たちが灯籠を流す順番になった。世界の平和のために、私たちに野心をコントロールする力を下さいますようにお祈りをしながら、灯籠を流した。

OSF 2010年度後期行事予定

10月10日	会館生、奨学生合同パーベキュー
11月10日	会館生、緑町宿舍例会
11月12日	奨学生例会
12月11日	年忘れパーティ
1月12日	会館生、緑町宿舍例会(新年会)

1月13日
1月31日
2月9日
2月16日
3月4日
3月16日

奨学生例会(新年会)
奨学金応募締切
奨学金支給日(例会はなし)
会館生、緑町宿舍例会
奨学生さよならパーティ
会館生さよならパーティ

トピックスTopics!

結婚・出産おめでとう

10月21日、高娜さん(H21 奨学生、中国)が結婚しました。お相手は中国の方だそうです。

10月26日、ナムジルマーさん(H11年奨学生、モンゴル)から連絡があり、8月に次男が誕生したとのこと。

お二人とも家族が増えてよかったですね。

～お幸せに！～

OB来団

11月30日、陳朝輝さん(H20 奨学生、中国)が日本出張中来団してくれた。天津の南海大学の先生で、日本文学の講義をしている。私たちが知らなかった日本人作家の魅力を熱く語ってくれた。

12月14日、景平さん(H5 会館生、中国)が北京から来日し、財団に寄ってくれた。北京の大学で先生をしている。OSFの大先輩だ。とても懐かしく話が尽きなかった。

おでんパーティー

11月、会館生・家族宿舎(10日)、奨学生(12日)の両日、おでんパーティーを実施。

論文などで忙しい時期ではあるが、温かいおでんで身も心も温まってくれたことを願う。



陳朝輝さんと



景平さんと

OSFの店 千葉大祭に

11月7日、千葉大祭に会館生の店を出店。温かい食べ物を出すことを心がけたので、現場で焼いたり揚げたり大変でした。OBや奨学生も多数応援にかけつけて全員参加で一日中声がかかるまで

がんばりました。

天気も私たちに味方してくれました。

みんな ごくろうさま！

